



毎月2回10日・25日発行
発行所 秋田県北秋田郡
合川町役場
編集責任者 佐藤一郎
広報係 杉浦佐一
(合川町役場総務課)
TEL 合川4番
(1回発行部数2,350)

実習生の見た先進地の農業

洋菜で反収八十万円

多角経営で大成功

町では去る十二日、役場会議室で第二回内地留学農業実習生の修了式と報告会をかねた座談会を行なったが、この座談会には昨年の第一回実習生十名も参加、各々自分の体験などを発表し先進地の農業技術とこの町の農業にいかに取り入れるかについて真剣に話し合った。



【内地留学実習生の修了式】

向うの農業は、海抜五百メートルから千メートルのいづれの高原地帯で、土地の条件は悪いがすべてが多角経営で水田よりもむしろ果樹や蔬菜の栽培が多かった。

収入があるといわれ、これらの洋菜は毎日定期的に東京や大阪、名古屋などの大都市の市場へ出荷される。

と休みらしい休みはなく苦しいことは事実であり、これは女の働きがよくなることには、男の働きがよくなることには、生産物の販路の研究や開拓の必要性

馬鈴薯 (五個)
甘藷 (五本)
黒いも (一升)
苗木 (一〇本)
まゆ (一〇〇包)
真綿 (三〇〇枚)
葉タバコ (五〇枚)
俵 (サンダワラ付) (二枚)

津谷さん紅
一点の表彰
県国保振興大会で

津谷さん紅
健康保険
振興大会
は去る十日午後一
時半から秋田市「あきたく
らぶ」で小知事をはじめ
県内各市町村長ら約二百五
十名が出席して開かれ、国
保事業当面の問題解決と国
及び県への要望事項などに
ついて協議したほか、優良
保険者(秋田市は三町村)
と国保事業功労者の表彰等
が行われ、十一人の功労者
の中の紅一点として本町の
津谷さん(民生課勤務
津谷健二)も表彰された。

町の農民祭

第二回農産物品評会

三日から北中学校で

連絡協議会では今年も昨年に引き続き「第二回合川町農産物品評会」を開催することになり、その準備を進めてきたが、このほど開催要領を決定しその細目を次のように発表した。

合川町
十一月三日～五日
合川北中学校
十一月三日～五日
合川北中学校
受付及び陳列
○四日

審査、内地留学生を囲んでの座談会、酪農講演会及び映画会、北小中学校芸術祭
○五日
農協婦人部及び青年部の座談会、農協婦人部演芸会、褒賞授与式、農協十周年記念役職員大会、閉会式
△出品物の規格数量単位
◇水稲 (一〇株、五株ずつ二把とす)
◇陸稻 (右同)
◇雑穀 (麦、大豆、小豆、菜豆、そば、あわ)

ごま、各一升とし別に審査用として一合)
◇もろこし (各五株)
◇体菜 (二株)
◇果菜 (五個、房成りのものは二房、栗及びくるみは五合)
◇大葱 (二〇本)
◇白菜 (二株)
◇人参 (二〇本)
◇ごぼう (二本)
◇大根 (二本)
◇長いも (二個)
◇南瓜 (二個)
◇甘藍 (二個)

あなただもゼヒ縦覧を
選挙人名簿が作られます

選挙人名簿の調製権者は選挙管理委員会となつていて、この名簿を一般選挙人の縦覧に供するといふことはとりもなおさず一般選挙人が調製手続きに参加することであり、且つ調製を公開することでもある。

第二次酪農座談会

可能性ある地区を重点的に

町経済課では六月下旬の各地区で「第二次酪農座談会」を開催することになり、準備を進めるとともに地区内酪農経営希望者多数の参加を望んでいる。

十一月一日(金)
上杉公民館(午後一時半～午後五時)
対象 対象部 上杉、下杉、梅栄、桃栄

十一月二日(土)
道城部落会館(時間前同)
対象 対象部 道城

十一月三日(日)
合川町役場(時間前同)
対象 対象部 合川

十一月四日(月)
合川町役場(時間前同)
対象 対象部 合川

- ◎七十五才以上一三四名(職老式招待者)
- ◎この番付は旧上大野、下大野地区を東方、旧落合、下小阿仁地区を西方とした
- ◎順位は生年月日によつた。